

児童発達支援・放課後等デイサービス luna(ルナ)もりのこびとたち

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75%	25%		身体を動かすスペースは広く楽しめている。落ち着きたいときも工夫して個別の空間を設けている。同時間3人利用までで適当だと思われる。
	②	職員の配置数は適切であるか	75%	25%		マンツーマン+αで対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		50%	50%	一体化した場所だが、「遊ぶ空間」とその他の場所の分けはできている。事業所が2階にあるが、階段のみでエレベーターはない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	75%	25%		その都度、話して共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	75%	25%		毎年実施し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	75%	25%		ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		25%	75%	現在は利用者(保護者)と事業所内の評価のみを実施している。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		100%		社内研修、事業所内情報交換などしているが、十分ではないと考える。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			面談で得たニーズや課題、地域療育センターなどで実施した発達検査の結果も把握して、支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	75%	25%		一人ひとりの特性や課題を把握するためにアセスメントを実施しているが、標準化されたものは使用していない。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			支援計画確認カンファレンス時に意見を出し合うようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			子どもの興味関心、活動プログラムのサイトなどから広く情報収集するようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%		25%	運動会などの学校行事を把握し、子どもの負担にならない程度にサポートするなど工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			発達段階や障害特性などに応じて、無理のないように立案している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%		支援の内容、留意点など、安全面も含めて確認するようにしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	75%	25%		当日だけでなく、振り返りと共有を行い、改善するように努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			一人ひとりの記録と、全体の記録をとり、支援の検証・改善に活かしている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			6ヶ月以内に1度、また必要に応じて面談を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			自立支援と日常生活の充実、創作活動などガイドラインに則った支援を行なっている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	75%	25%		サービス担当者会議は実施がなかったが、モニタリングを受け児発管が対応している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	25%	50%	25%	送迎サービスを行っていないため、保護者を通じて行事予定を確認する程度。必要に応じて、連絡をとりあい対応したいと考えている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		25%	75%	該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		50%	50%	保護者を通じて情報収集を行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		25%	75%	該当なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25%	50%	25%	保護者を通じてOT、PTの検査結果報告書などを見せてもらい、見学に行つてその後支援の助言を受けたりしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%	療育時間が短いため、実施は難しいと思われる。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	50%	50%		可能な限り、今年度は一度だけ参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			来所時、お迎えのときなどに、子どもの様子や興味関心についてなど、できるだけ会話をするようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	50%	25%	25%	上記の通り、気軽に会話はできていると思っているが、状況や必要に応じてしっかりとした家族支援が実施できればと考えている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	75%	25%		契約時に個別に実施している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			緊急に対応すべきかどうかを考慮し、直接または電話やメールで対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	現在は会がないが、希望があれば積極的に連携支援したい。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	75%	25%		苦情対応窓口を契約書に記載し、ご案内している。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25%	75%		可能な限り、ブログ配信をしているが、定期的にできるようにしたい。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	100%			鍵付き書庫に保管している。
	㊱	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			必要に応じて絵カードや写真で対応し、表情から気持ちを読みとり確かめることも行っている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		50%	50%	法人行事の際にボランティアをしてもらっている。また、実習生の受け入れも行なっている。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	50%	50%		マニュアルを作り、事業所内で研修を行い、保護者にも伝えている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			主として地震発生時の訓練を子どもの発達段階に応じて実施している。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	75%	25%		研修は行っているが、障害特性や支援の仕方についてなどの研修がもう少しあればなおいい。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	50%		利用児童又は他の児童の生命又は身体を保持するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束を行わないことを、契約時に個別に説明をしている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%		50%	食事提供はしていないが、一人ひとりのアレルギー状況は把握している。
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	75%		25%	随時、情報を共有し、ファイルに記録している。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。